

補助金の一部返還について

～指導を徹底していく～



うち だ とし かず
内田 俊 和

緑政会

質

平成26年度ツーリズム協会助成金のうち、市補助金として充当した金額はどのように試算して、請求したのか。

答

商工観光課長

平成26年度事業の大分県地域活力づくり活動支援事業費補助金を活用したピクニックマップ作成業務は、年度内での納品に至らなかったことから、作成事業費200万円から自主財源を差し引いた金額を里の旅公社へ求めたところでは。

質

普通交付税は5年間で段階的に削減されていくとの説明でしたが。

答

市長

一本算定となる平成32年度以降、現時点では少なくとも14億円程度は縮減されると想定しています。これまで積み立てを行ってきた財政調整基金や公共施設整備基金を活用し、行政サービスの低下を招かぬよう、健全な財政運営に努めます。

基金について

～基金を計画的に活用したい～

質

担い手の育成、確保及び支援は。

答

農業振興課長

新たな担い手確保対策として、後継者確保育成事業に取り組み、認定農業者の後継者が親元就農できるよう支援していきます。

質

小規模農家に対する支援は。



答

農業振興課長

第3次農業振興計画でも高齢者農業の推進を重要施策として掲げています。

農業振興について

「人づくり」「ものづくり」「システムづくり」を基本の柱とし、農業振興を図る

質

鳥獣害対策は。

答

農業振興課長

農地の周囲に電気柵・ネット・金網柵等を設置し、被害防止対策に取り組んでいます。

質

畜産振興は。

答

農業振興課長

肉用牛の生産基盤の維持を図るため、労働力確保及び飼養頭数の確保、飼料費の低減と安定供給を主要課題として取り組めます。



おの ゆう じ
小野 勇 治

緑政会

職員採用枠の突然の大幅な 採用増はなぜ今なのか

～類似団体に比した職員総数の
適正化への見通しがついた～

質

8月1日発行の市の広報誌に職員募集が載るため、急ぎよ7月27日に議会へ説明が行われたが、必要性となぜこの時期なのか。

答
副市長

1年待ってもよかったが、早いほうがいいという考えで行いました。議員へ説明は遅くなったが、理解していただきたい。

質

職員削減は改革の最重要課題として位置付けられている。市民への的確な情報の共有が行われていない。行政改革本部の意思決定はどうされたのか。

答
総務課長

7月の市政活性化会議で説明しました。

質

特殊事情として50歳前後の職員の退職者が続いていることは、行政にとって大きな損失ではないか。

答
総務課長

技量、知識が備わっている職員が、それだけの損失は言われるとおります。

大分県一高い介護保険の 負担軽減は

～基準額引き下げは可能と考えている～

質

再任用制度は、他の自治体の例を示して利用したい発言をしたが、その後どうされたのか。

答
市長

中津市の例を持ち出しました。我々も募集をしましたが、希望者がいませんでした。

質

60億円の介護保険予算で豊後大野市の経済が活性化という観点は、いかなものか。できるだけ縮小させることが活性化につながると考えるが。

答
市長

市では、ほとんどが市内業者の方が経営で、介護給付費が市内で回り、これが外に出ていかないという意味です。

質

介護予防健診は13・4%と低い、この結果をどう分析されているか。

答
市長

介護予防健診の節目健診は3年目になりますが、そのほかにコミュニティカフェや自治体ごとの健診も行っています。

その他の質問

・土木関連予算について



介護予防健診の様子